

「えみふるふぁいる」の配布と効果的な運用に向けて①

I ファイルの趣旨と配付状況

①ファイルの趣旨と特色

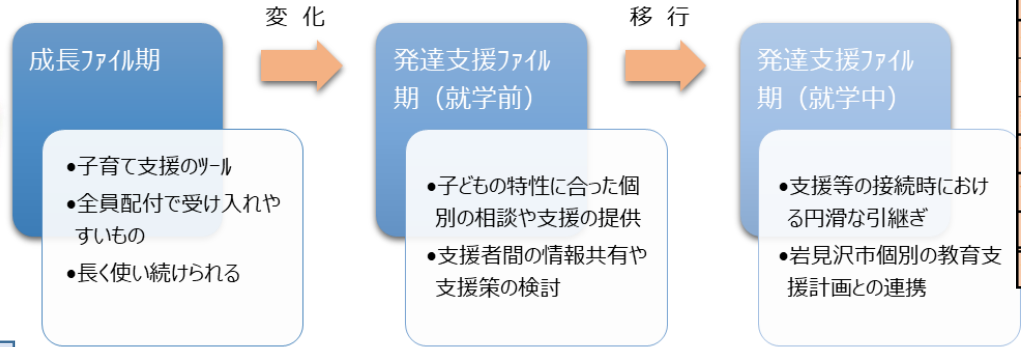
子どもが各ライフステージにおいて切れ目ない一貫した支援が受けられるよう、成長や発達、思い出を記録できる成長記録のファイル

- ◆配布時期 1歳6か月児健診時に、説明のうえ全員に配布
- ◆配布対象 市内在住の18歳以下のすべての子ども
- ◆保管 子ども及び保護者



②活用の流れ

「成長記録を収めるファイル」としてスタートし、子どもの発達について心配なとき、躓きに気づいたとき、支援者が関わり始めるときに、「発達支援の記録を収めるファイル」に変化。



えみふるふぁいる配布状況 (R6.2.14時点)

機関	配布部数				総計
	R2	R3	R4	R5	
保健センター	380	388	324	237	1329
子育て総合支援センター	42	71	30	34	177
子育て支援係	9	25	10	0	44
3歳児健診	3	41	45	73	162
教育支援センター	0	0	0	0	0
市役所福祉課	0	3	4	9	16
市立総合病院	0	1	0	1	2
ことばの教室		20	21	10	51
計	434	549	434	364	1781

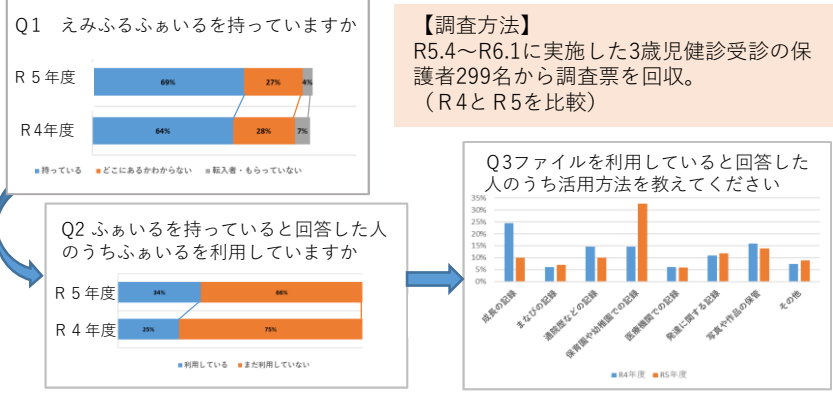
※配布開始：令和元年9月(1歳6か月児健診)

II 令和5年度の取組

1. 【市民への周知】

1-1 3歳児健診での周知

問診票のコピーを綴ってもらい、ふぁいるの利用について声掛けとアンケートを実施。



1-2 市内イベントでの周知

**「あそびプロジェクト」**  
北海道教育大岩見沢校主催の「あそび」をテーマに学べるイベントのブースにて、えみふるふぁいるのポスターを設置

10/7~10/8 開催  
北海道教育大岩見沢校 ※当日の様子

**「いわみざわ健康まつり」**  
市主催の楽しみながら健康づくりを体験するイベントのブースにて、えみふるふぁいるのポスターを設置

9/26~10/1 開催  
いわみざわ健康ひろば ※当日の様子

2. 【関係機関における「えみふるふぁいる」活用の推進】

2-1 学校向け説明会

【開催】特別支援教育推進委員会にて  
【日時】R6年1月19日(金)  
【対象】市内特別支援教育コーディネーター

参照：資料A

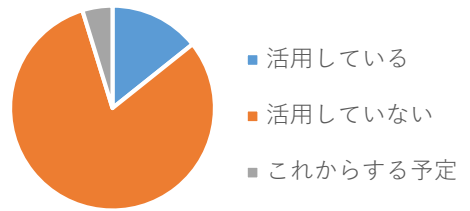
2-2 療育機関向け説明会

【開催】岩見沢地区地域療育推進協議会「事業所部会」にて  
【日時】R6年2月15日(木)  
【対象】療育機関(通所支援事業所・相談支援事業所)

参照：資料B

2-3 園での活用調査

【方法】巡回相談で園訪問した際に直接インタビュー  
【対象】主任など保育の中心となる管理職  
※巡回相談を希望した市内23園中、R6年2月までに訪問した21園  
【内容】「えみふるふぁいる」の活用の有無、活用の仕方



3. 【新たな活用の機会の開拓】

乳幼児健診と同様に、就学時健診の問診票を手交し、えみふるふぁいるに綴ってもらう機会とする。

3-1 今年度の取り組み

- 就学時健診へのプレ導入  
令和6年度の本格導入に向けた準備をおこなった。
- 就学時健診の案内にて、えみふるふぁいるを紹介
- 参考：資料D

- 健診当日は、問診票の写しを保護者控えとして手交(例年通り)

3-2 次年度に向けて

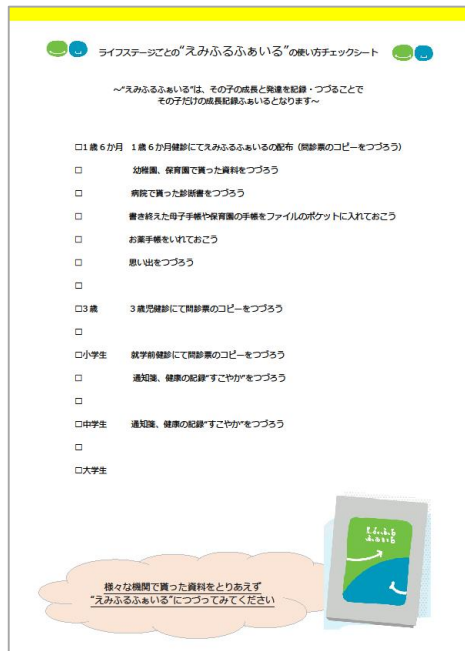
- 次年度の就学時健診対象者が、全員がえみふるふぁいるを持っている初めの世代となる
- 健診当日に問診票をふぁいるに綴ってもらえるよう、作業台を用意。設置場所は学校ごとに要検討。
  - 学校で使用できるオプションシートがあれば、健診時に配布できる。

III 今後の取組の方向性

区分	課題	検討の視点	取組の方向性や内容【協議の内容】
保護者の意識を維持する	・えみふるふぁいるの所持・活用の意識を維持していくことが課題。	ふぁいるを持っていることへの意味を伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月健診の配布説明の際に、基本シートやオプションシートの幅広い活用方法を伝えるとともに、3歳児健診でも利用するため失くさないで持ち続けて欲しいことを伝える。</li> <li>・3歳児健診のえみふるふぁいるブースにて、使用例のふぁいる見本とオプションシートを置き、基本シート以外の活用を促進する。</li> </ul>
		ふぁいるの登場機会を増やす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市主催のイベントにてふぁいるの周知の他、オプションシートを配布し、ファイルに綴ってもらうよう声掛けをする。</li> <li>・R7年度よりの本格開始の就学時健診（R7年度入学児童）で活用を促進する。</li> </ul>
		ふぁいるの今後の活用予定を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のえみふるふぁいるの活用予定をライフステージごとにチェック項目付きの一覧で作成し、基本シートに追加する。</li> </ul>
支援者の活用意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部関係者の中で、「えみふるふぁいる」から“情報を得る”動きは少しずつ出てきている。一方、自分が“支援者”として「えみふるふぁいる」に“記録を残す”ことについては、まだまだ取り組みがない…。</li> <li>⇒「えみふるふぁいる」によって現場の業務が増える…</li> <li>⇒“自分の言ったことが記録に残る”という重圧</li> </ul>	既存の様式の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「えみふるふぁいる」用の新たな様式を作るのではなく、既に各機関で使用している様式はそのままに、保護者に綴ってもらうための工夫をする。</li> <li>例) 「えみふるふぁいる」にとじましようスタンプ</li> </ul> <p style="text-align: right;">参照：資料E</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育機関に通っている子どもの中には、複数の事業所を併用している子どもがいる。このことから、近年市内では、“事業所同士の情報共有”が大きな課題となっている。</li> </ul>	新たなオプションシートの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所が、懇談等で保護者と話した支援の方針を、共通のオプションシートに書き込み、互いに確認できるようにする。</li> </ul>

(例) チェックシート

3歳児健診のブースのイメージ



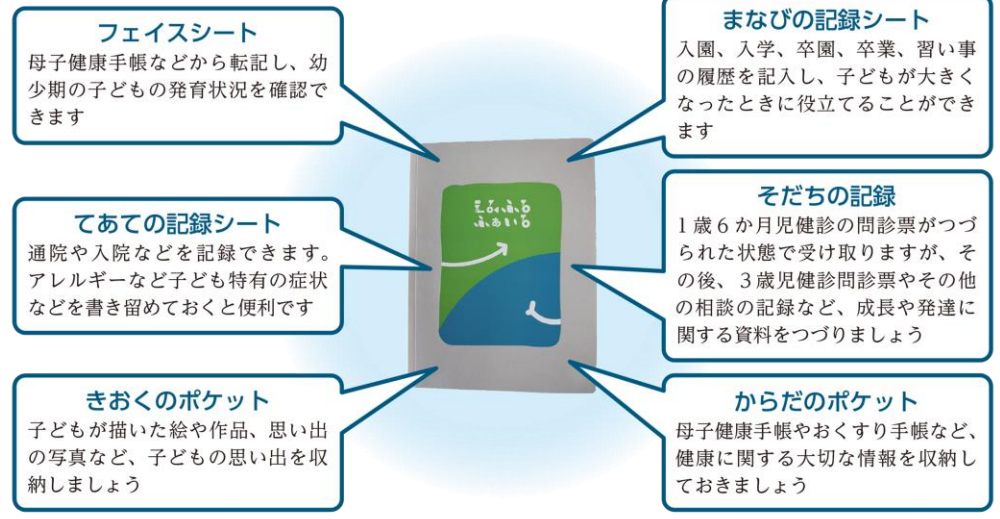
参考：ライフステージを支える支援機関

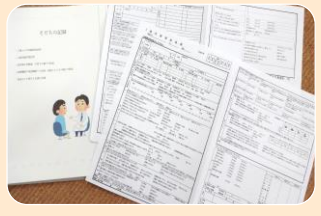
年齢	就学前（乳幼児期）						就学中（学齢期）												卒業後							
	0	1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20						
支援者（機関）	1.6健診			3健診			<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園、幼稚園、その他</li> <li>・保健センター（母子）</li> <li>・福祉担当課</li> <li>・教育委員会（幼児ことばの教室）</li> <li>・子育て支援センター</li> <li>・発達支援センター</li> <li>・児童発達支援（通所支援サービス）</li> <li>・相談支援事業所</li> <li>・医療機関</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校</li> <li>・特別支援学校</li> <li>・放課後等デイ</li> <li>・相談支援事業所</li> <li>・教育支援センター</li> <li>・発達支援センター</li> <li>・医療機関</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校</li> <li>・特別支援学校</li> <li>・放課後等デイ</li> <li>・相談支援事業所</li> <li>・教育支援センター</li> <li>・発達支援センター</li> <li>・医療機関</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校</li> <li>・特別支援学校</li> <li>・放課後等デイ</li> <li>・相談支援事業所</li> <li>・教育支援センター</li> <li>・発達支援センター</li> <li>・医療機関</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業先</li> <li>・福祉施設</li> </ul>	
	配布			提示			支援の引継ぎ						支援の引継ぎ			支援の引継ぎ			支援の引継ぎ							
えみふるふぁいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成育歴（フェイスシート）</li> <li>・医療の記録</li> <li>・1.6問診票、発達の記録</li> <li>・3健診問診票の記録</li> <li>・保育園、幼稚園等の様子</li> <li>・福祉、教育の支援の記録</li> <li>・療育機関の支援の記録</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談の記録</li> <li>・個別の指導計画</li> <li>・個別の教育支援計画</li> </ul>																			



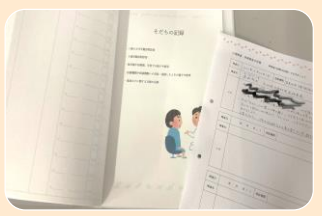
特別支援教育との関連

えみふるふあいるの構成






**《乳幼児健診》**  
1歳6か月健診と3歳児健診の問診票のコピーが綴じられています。就学前の育ちの様子を窺えます。



**《発達検査》**  
市Hpからダウンロードできる様式です。子育て総合支援センターで発達検査を受けた方には、必ず紙でお渡ししています。



**《療育の記録》**  
市内の児童デイに通っている子どもなら、事業所の作成する「個別支援計画書」が綴じられているかもしれません。

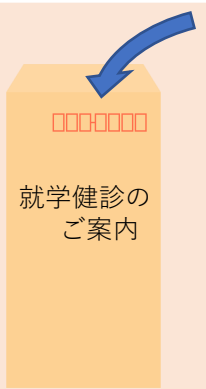
「えみふるふあいる」を持っているのは？

- 全員** 令和7年度新1年生以降、新入学生はほぼ全員が所持することになります。
- 自ら** 希望があれば18歳以下の岩見沢市の子どもは受け取ることができます。  
現小中学生にも、所持する子どもがいるはずです。  
\* 弟妹の健診で配布された際「兄姉の分もください」と希望されることが多いです。
- 発達検査** 今の小学4年生が《就学相談》を受ける年から、オプション様式「心理検査（発達検査）や発音の検査の記録」の活用が始まりました。

今年度の取り組み

～令和6年度 新1年生向け 就学時健康診断にて

- 令和5年9月30日（土）「就学時健診（令和6年度就学予定者）」の案内に、お知らせを同封しました。
- 健康診断記録票の複写用紙を綴じるほか、懇談のメモや通知表の保管場所として、「えみふるふあいる」をお勧めしています。
- 令和6年度におこなう「就学時健診（令和7年度就学予定者）」の案内にも同封予定です。



学齢期での本格的な活用は **これからです**

# 「えみふるふあいる」とは？



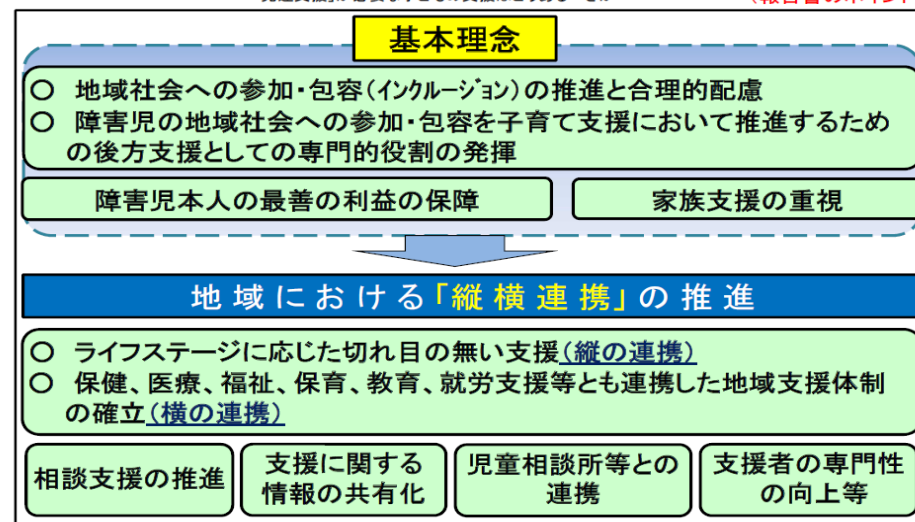
- 「成長」と「発達」を記録・記憶するファイル
- 岩見沢市で取り組んでいる事業
- 1歳6か月児健診で全員に配布中
- 令和元年9月開始（今の2～3歳児クラスは全員）
- 希望すれば18歳以下の子どもに1冊ずつもらえる

## 配布している場所

子育て総合支援センター 教育支援センター  
市役所福祉課 市立病院

# 今後の障害児支援の在り方について

平成26年7月16日  
障害児支援の在り方に関する検討会  
(報告書のポイント)



## <報告書提言の主な内容(1)>

出典：今後の障害児支援の在り方について（報告書）

### ① 地域における「縦横連携」を進めるための体制づくり

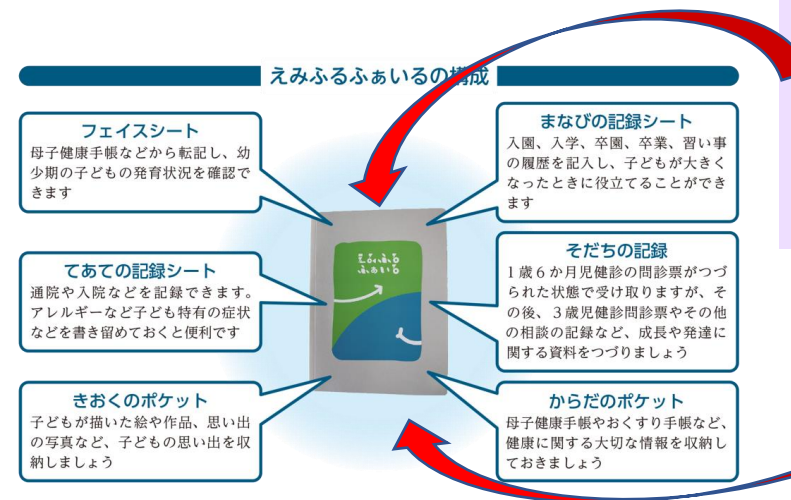
- 児童発達支援センターを中心とした**重層的な支援体制**(各センターによる保育所等訪問支援・障害児相談支援の実施等)
- **保育所等訪問支援**等の充実、入所施設への有期・有目的入所の検討
- 障害児相談支援の役割の拡充、ワンストップ対応を目指した**子ども・子育て支援新制度の「利用者支援事業」との連携**
- (自立支援)協議会の活性化、支援に関する情報の共有化を目的とした「**サポートファイル**」の活用
- 障害福祉計画における障害児支援の記載義務の法定化

### ② 「縦横連携」によるライフステージごとの個別の支援の充実

- **ライフステージごとの支援**(乳幼児期、小学校入学前、学齢期、卒業後)
- 保護者の「**気づき**」の段階からの支援、保育所等での丁寧なフォローによる専門的な支援へのつなぎ、障害児等療育支援事業等の活用
- 教育支援委員会や学校等との連携、卒業後を見据えた就労移行支援事業所等との連携

えみふるふあいる = 切れ目のない支援の助けとなるツール

## えみふるふあいるの構成



## 個人懇談の記録



## 心理検査(発達検査)や発音の検査の記録



## 療育現場からの声



保護者の側から見せてくれたことがある。

「個別支援計画書」を綴じるよう声をかけている。

岩見沢にそんな良いものがあるなんて知らなかった。これからは使いたい。

事業所部会以外で見たことがない。一体だれがもっているのか？

えみふるふぁいる = これから必要になってくるもの

## 今年度の取り組み

～令和6年度 新1年生向け 就学時健康診断にて

- 令和5年9月30日（土）「就学時健診（令和6年度就学予定者）」の案内に、お知らせを同封しました。
- 健康診断記録票の複写用紙を綴じるほか、懇談のメモや通知表の保管場所として、「えみふるふぁいる」をお勧めしています。
- 令和6年度におこなう「就学時健診（令和7年度就学予定者）」の案内にも同封予定です。



今後、岩見沢の子どもたちは、「えみふるふぁいるを持ってきてください」と言われることが増えます。

## 「えみふるふぁいる」を持っているのは？

全員

今の年中さんが全員もっている第一世代。

自ら

希望があれば18歳以下の岩見沢市の子どもは受け取ることができます。現小中学生にも、所持する子どもがいるはずです。  
\* 弟妹の健診で配布された際「兄姉の分もください」と希望されることが多いです。

発達検査

今の小学4年生が《就学相談》を受ける年から、オプション様式「心理検査（発達検査）や発音の検査の記録」の活用が始まりました。

## “個別支援計画書”は「えみふるふぁいる」へ



その子の課題を何ととらえ、どんな支援をして、どのように成長を支えてきたのか、ぜひ記録に残してあげてください。

面談で…「えみふるふぁいるを持ってきてください」

計画書を渡すとき…「えみふるふぁいるに綴じてくださいね」

持ち続けてもらうために…「就学後も使うみたいですよ」

えみふるふぁいる = その子の今後の支援のためのもの



	開始時期	とりくみ内容
A 幼稚園	R2年11月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児の願書受付面談（副園長・主任が対応）で持参求める。在園児の個人懇談でも活用（担任が対応）。</li> <li>・健診問診票の“保護者が気になっていることを書く欄”や“子育ての協力・相談環境を書く欄”などポイントを絞って見せてもらっている。</li> </ul>
B 幼稚園	R3年11月～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入園児の願書受付面談（副園長・主幹教諭が対応）で持参求める。</li> <li>・“保護者が気になっていることを書く欄”や“保護者の心理的負担について書く欄”を注意して見るようにしている。何も手がかりがない状態ではこうした内容は聞きづらいため、手元にふぁいるがあると話を進めやすい。</li> </ul>
C 保育園	R4年度冬～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児健診が終わった園児にファイルの持参を求める。</li> <li>・健診問診票の“保護者の悩み事の欄”を参考にしている。</li> <li>・1歳半健診と3歳児健診の違いも参考にしている。</li> <li>・健診の内容について、保護者に尋ねても「特に…」と言われるので、「こういう話はできましたか？」「どんな話をしましたか？」「心理の先生でしたか？言葉の先生でしたか？」と保育士の方から具体的に聞いている。</li> </ul>

### 活用していない・活用していたがやめた園のコメント

「確実に記入されている感触がないので呼びかけていない」「自主的に持ってくる保護者はいない」「見せたくない親はいないのか、心配」「えみふるふぁいるの存在を知らなかった」「実際に持参してもらったが“持っていない”“書いていない”保護者が多かったのでやめた」「健診の問診票では「感情的な言葉で怒鳴った」「育児の協力者がいない」など話題に出しづらいことも記載してあり扱いが難しかった」・・・

# えみふるふぁいるのご紹介

岩見沢市では、お子さんの成長過程や思い出を記録・記憶し、子育てを応援するために、無料で『えみふるふぁいる』をお配りしています。

今回の就学時健康診断の控えを、綴じてみましょう。



## 使い方の例

### 小学校では、毎年、健康診断があります

お子さまが健康診断の結果を持ち帰りますので、ファイルに綴じてみてください。  
岩見沢市のホームページでは、18歳までの成長曲線シートをダウンロードできます。→  
成長曲線を記録すると、成長の度合いを一目で見ることができますよ。



### 懇談で聞いた話も、時間がたつと忘れませんか？

個人懇談等の内容をメモしておく、あとから振り返ることができるだけでなく、担任の先生が変わった時などにも以前の様子を話しやすくなります。  
集団生活だからこそ見えてくる“その子らしさ”を、記録してみたいはいかがでしょうか。

### 通知表って、どう保管する？

通知表などの穴があけにくい書類も、えみふるふぁいるの〈ポケット〉に入れて保管しておくことができます。〈ポケット〉は2つあるので、使い分けるのも良いですね。



まとめておくと、  
ふり返りやすい  
成長がわかりやすい  
誰かと共有しやすい

ご希望の方へお配りしています。  
こちらの配布窓口へおこしください。



#### 【お問合せ先】

岩見沢市子育て総合支援センター  
岩見沢市4条西3丁目1であえーる岩見沢3階  
TEL 22-3337

#### 【配布窓口】

岩見沢市子育て総合支援センター  
岩見沢市教育支援センター  
市役所福祉課  
市立総合病院小児科

# 資料 E

